

消化器・肝臓センター



NEW 一す NO. 26



2017.8

消化器内視鏡技師って 知っていますか？

内視鏡室で働く医療従事者の中には、消化器内視鏡技師の資格を有する看護師がいます。その役割は、内視鏡を行う医師の補助、検査や治療を安全・的確・迅速に進められるよう介助を行い実施することです。また医師との打ち合わせ、当日の検査スケジュールの構築、内視鏡室内の環境調整、機械・器具の準備・洗浄、記録・画像の整理、片付けなど多くの仕事があります。

患者さんに負担の大きい、EMR（内視鏡的粘膜切除術）やESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）、ERCP（内視鏡的逆行性胆管膵管造影）などのスコープ管理、摘出された検体を病理検査や培養検査に提出できるよう処理することも大切な業務です。消化器内視鏡処置が円滑に進むように努める事が、重要な仕事です。

安心の体制

その1



内視鏡検査を行う患者さんは、当日から飲食を禁止したり下剤を飲んだりして検査に備えています。また初めて検査を経験する人は緊張している人も多く

います。このような慣れない状況や緊張状態による、患者さんのちょっとした変化に気づけるよう目配り・気配りを行っています。例えば検査中、患者さんが緊張で身体がこわばっている時など肩や背中にタッチングを行い、力を抜くよう声を掛け 不安や苦痛の軽減に努めています。タッチングは、安心感を与えるだけでなく、患者さんの身体的な変化を察知する方法の一つとしても有効です。

安心の体制

その2



当院内視鏡室には、消化器内視鏡技師の資格を有する看護師が6名います。専門性を高め、スキルアップ・キャリアアップを目指しています。

検査の種類は多岐にわたり複雑化していますが、関連するスタッフである 医師、臨床工学士、放射線技師、看護助手、クランクが連携してそれぞれの役割を遂行して業務を行っています。消化器内科、外科、放射線科チームの一員として業務の円滑な稼働を実現するために、勉強会に参加し 日々学習に励んでいます。

このように体制を整えておりますので、わからないことや不安に思うことがありましたら お声掛け下さい。

外来主任看護師

吉川 佐世美

市立貝塚病院

TEL : 072-422-5865

